

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第48号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年12月15日 10時10分ごろ	
発生場所	岡山県岡山市岡山港 岡山港西防波堤灯台から真方位092° 1.5海里付近 (概位 北緯34° 35.7′ 東経133° 59.0′)	
事故等調査の経過	平成23年3月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A ケミカルタンカー ^{まんえい}万栄丸、188.12トン 124603、防府合同運送株式会社</p> <p>B ケミカルタンカー 第十七 ^{きょうかい}恭海丸、168トン 128374、有限会社香陵海運</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、五級海技士（航海）</p> <p>B 船長B、五級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 船首部左舷側にペイント剥離</p> <p>B 船首部に凹損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか3人が乗り組み、岡山港長尾棧橋から後進しながら右に回頭して離棧していたところ、平成22年12月15日10時10分ごろ、西からの強風を受けて左舷側に圧流され、A船の船首部左舷側と着棧中のB船の船首部とが衝突した。</p> <p>B船は、船長Bほか3人が乗り組み、岡山港長尾棧橋に着棧中、A船と衝突した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風速 約10～12m/s、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の末期、潮流 微弱な東流</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	<p>A船は、岡山港において離棧作業中、風の影響を受けて左舷側に圧流されたことから、B船と衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、岡山港内の棧橋に着棧中、A船と衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、A船が、岡山港において離棧作業中、風の影響を受けて圧流されたため、着棧中のB船と衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	